mizu maru ANZAI

my illustrations, and there I was.

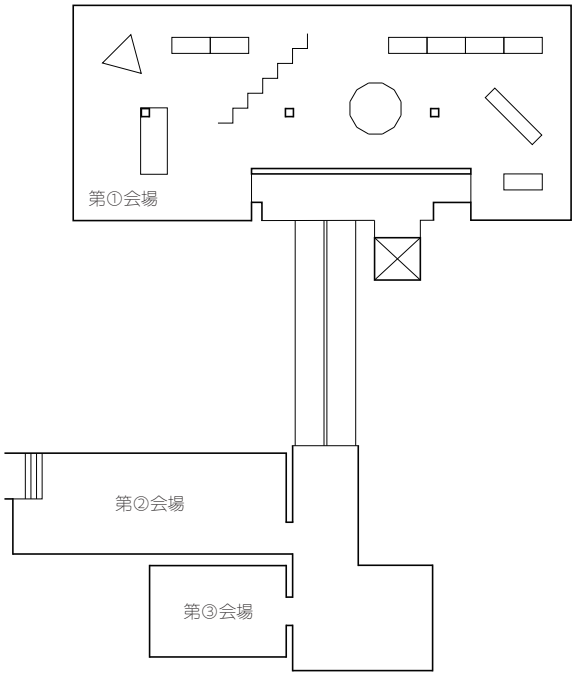
安西水丸 とイラストレーション 絵があって、ぼくがいた。

2026年9月14日(月)–10月25日(日)

安西水丸 **出品リスト**

凡例

・出品リストは、原則として次の順に記載した。
出品番号、制作者、掲載種別、作品名、著者、書籍名または掲載誌名、出版社、制作年または掲載年、素材、出品点数、所蔵
・書籍・雑誌等に掲載された作品のタイトルは「　」、書籍・掲載誌名は『　』、それ以外の作品名は《　》で括り、作品名不詳の場合に当館で付した作品名は［　］で括った。
・掲載年は、書籍の場合は発行年を、雑誌の場合は掲載年または掲載期間を記載した。
・制作者の記載がないものは、すべて安西水丸によるものである。
・第4章のみ、役割を氏名の後に以下の略号で記載した。
i＝イラストレーター、a＝アーティスト、cd＝クリエイティブディレクター、ad＝アートディレクター、d＝デザイナー、cw＝コピーライター、p＝フォトグラファー
・書籍、パンフレット、モチーフ等の資料には出品番号に「m」を付した。
・所蔵の記載がない作品は、武蔵野美術大学 美術館・図書館の所蔵である。
・該当する情報がない場合は、適宜省略した。
・出品作品は、都合により変更となる場合がある。



出品番号		点数

第1章 イラストレーター「安西水丸」をかたちづくったもの

千倉での幼少期――海と自然と

1–1	少年の原風景	
1–1–1	装画『荒れた海辺』新潮社、1993年、紙・水彩絵具・色鉛筆・他	1
1–1–2	《無題》制作年不詳、紙・水彩絵具	1
1–1–3	［詳細不詳］紙・インク・カラーフィルム・他	1
1–1–4	《無題》制作年不詳、紙・水彩絵具	1
1–1–5	《無題》制作年不詳、紙・水彩絵具	1
1–1–6	《無題》制作年不詳、紙・水彩絵具	1
1–1–7	《無題》制作年不詳、紙・インク	1

出品番号		点数
1–1–8	《無題》制作年不詳、紙・インク	1
1–1–9	《無題》制作年不詳、紙・鉛筆	1
1–1–10	挿画「a day in the life」／雑誌『チルチンびと』風土社、2000–14年、紙・インク・色鉛筆・他	18
1–1–11	挿画「わが南房総を語る」／雑誌『MANAGEMENT SQUARE』ちばぎん総合研究所、2008年、紙・インク・色鉛筆・他	2
1–1–12	［詳細不詳］紙・インク・色鉛筆・他	1
1–1–13	［スケッチブック］制作年不詳、紙・インク・他	1

思春期と都会の感覚

1–2	デザインを学ぶ	
1–2–1	［映画テーマ曲ジャケット（学園祭出品作品）］1963年、紙・インク・他	3
1–2–2	《オーシャンと11人の仲間たち（大学卒業制作）》1965年、紙・インク・他	4
1–2–3	《無題》1960年代、ボード・アクリル絵具	1
1–2–4	《無題》1960年代、ボード・アクリル絵具	1
1–2–5	《無題》1960年代、紙・水彩絵具	1
1–2–6	《無題》1960年代、ボード・アクリル絵具	1
1–2–7	《無題》1961年、紙・水彩絵具	1
1–2–8	［スケッチブック］1960年代、紙・インク・他	1
1–2–9	［スケッチブック］1960年代、紙・インク・他	1
1–2–10	［スケッチブック］1960年代、紙・インク・他	1
1–2–11	［スケッチブック］1960年代、紙・インク・他	1
1–2–12	［スケッチブック］1965年、紙・インク・他	1
1–2–13	［スケッチブック］1960年代、紙・クレヨン・他	1
1–2–14	［スケッチブック］1960年代、紙・インク・他	1
1–2–15	［スケッチブック］1960年代、紙・インク・他	1

第2章 描き続けた日々

1970年代：イラストレーター・安西水丸としてのスタート

2–1	嵐山光三郎との出会い	
2–1–1	『ビッキーとボッキー』嵐山光三郎・安西水丸、福音館書店、1976年、紙・インク・他	10
2–1–2	挿画『チューサン階級のトモ』嵐山光三郎、徳間書店、1984年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2–1–3	挿画「今月の気分」嵐山光三郎／雑誌『ドリブ』青人社、1985–88年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	6
2–1–4	挿画「ドリブ君」／雑誌『ドリブ』青人社、1982年頃、紙・インク・他	3
2–1–5	挿画「嵐山ダンナの東京ビックリ拝見」嵐山光三郎／雑誌『オール読切』檸檬社、1975年、紙・インク・他	1
2–1–6	挿画「続.笑っていいとも増刊号 編C後記」嵐山光三郎／雑誌『オール讀物』文藝春秋、1984年、紙・インク・他	1
2–1–7	挿画［タイトル不詳］嵐山光三郎／雑誌『BRUTUS』マガジンハウス、掲載年不詳、紙・インク・他	1
2–1–8	挿画「チューサン階級ノトモ」嵐山光三郎／雑誌『宝島』JICC出版局、1975–76年、紙・インク・他	4
2–1–9	挿画［タイトル不詳］嵐山光三郎／雑誌『ドリブ』青人社、掲載年不詳、紙・インク・カラーフィルム・他	5

2–2	『ガロ』への掲載	
2–2–1	「怪人二十面相の墓・後編」嵐山光三郎・安西水丸／雑誌『ガロ』青林堂、1974年	2
2–2–2	「ひきしおの頃」／雑誌『ガロ』青林堂、1974年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2–2–3	「青の時代」／雑誌『ガロ』青林堂、1975年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2–2–4	「北風放浪」／雑誌『ガロ』青林堂、1976年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2–2–5	「まがり道」／雑誌『ガロ』青林堂、1976年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2–2–6	「東京エレジー❶」／雑誌『ガロ』青林堂、1977年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2–2–7	「春はやて」／雑誌『ガロ』青林堂、1977年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2–2–8	装画『ガロ』青林堂、1981年、紙・インク・カラーフィルム・他	1

2–3	サブカルチャー雑誌というフィールド	
2–3–1	［詳細不詳］／［雑誌『ビックリハウス』］パルコ出版、紙・インク・他	1
2–3–2	挿画「山のあなたの空遠く」萩原朔美／雑誌『ビックリハウス』パルコ出版、1983年、紙・インク・他	1
2–3–3	挿画「リバーシブルコミックス」／雑誌『Today』文化出版局、1980年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2–3–4	挿画『OUTDOOR SPORTS』山と渓谷社、1976年頃、紙・インク・他	5
2–3–5	［詳細不詳］紙・インク・カラーフィルム・他	6

出品番号		点数
2-3-m1	資料「熱血冒険おもしろ探偵漫画 探偵テルちゃん」／雑誌『ビックリハウス 通巻19号』パルコ出版、1976年、個人蔵	1
2-3-m2	資料「ミシュランもってフランスのレストランにのりこんだ」山本益博／雑誌『宝島 通巻13号』JICC出版局、1975年、個人蔵	1
2-4	パントーン・オーバーレイとの出合い	
2-4-1	装画『日旅クラブ会報 Travel Life』1981年、紙・インク・カラーフィルム・他	3
2-4-2	「スケッチブック」出品作品、1980年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-4-3	装画『サムライ・ランナウェイ 天下御免』作曲 宇崎竜童、キャニオン・レコード、1981年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-4-4	挿画「八尾西武・耳より通信」［八尾西武百貨店 カタログ］1981年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	5
2-4-5	［詳細不詳］紙・インク・カラーフィルム・他	13
2-4-6	［K.WATANABE.ARCHITECT.DESIGNHOUSE］1980年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2-5	東京デザイナーズ・スペース(TDS)のコミュニティー	
2-5-m1	資料『TOKYO DESIGNERS SPACE No.4』1980年	1
2-5-m2	資料『TOKYO DESIGNERS SPACE No.13』1983年	1
2-5-m3	資料「私にとって一枚の写真」『TOKYO DESIGNERS SPACE No.14』田中一光・安西水丸 編、1984年	1

1980年代：フリーランスとしてのめくるめく活躍

2-6	水平線のある景色	
2-6-1	装画「(7月)口笛のきこえる」『モリサワカレンダー 1985年〈音知樂〉』モリサワ、1985年、紙・カラーフィルム・他	1
2-6-2	装画『パール・ピアス』(LPレコード)松任谷由美、東芝EMI、1982年、紙・インク・カラーフィルム・他	3
2-6-3	装画『IN★POCKET』講談社、1983-93年、紙・インク・カラーフィルム・他	30
2-6-4	装画『Qtai：週刊求人タイムス』学生援護会、1983-87年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	24
2-6-5	装画『週刊FM』音楽之友社、1983年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	6
2-6-6	装画『グループ IY』イトーヨーカ堂、1987年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-6-7	装画『ウィナー』福武書店、1980年代後半、紙・カラーフィルム・他	2
2-6-8	装画『サマーチャレンジ』福武書店、1987年、紙・カラーフィルム・他	1
2-6-9	装画『ホトトギス雑詠選集』高浜虚子 選、朝日新聞出版、1987年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-6-10	装画『螢雪時代』旺文社、1989年、紙・インク・カラーフィルム・他	10
2-7	「普通」な日々に潜む「普通じゃなさ」	
2-7-1	『普通の人』JICC出版局、1982年、紙・インク・他	5
2-7-2	装画『平成版 普通の人』南風社、1993年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2-7-3	装画『平成版 普通の人』文庫版、朝日新聞出版、2000年、紙・インク・カラーフィルム・他	3
2-7-4	『平成版 普通の人』南風社、1993年、紙・インク・他	5
2-7-5	「軽蔑」／雑誌『月刊カドカワ』角川書店、1985年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-7-6	「逃げ馬」／雑誌『月刊カドカワ』角川書店、1985年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-7-7	「枇杷」／雑誌『月刊カドカワ』角川書店、1985年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-7-8	「ホテル」／雑誌『月刊カドカワ』角川書店、1985年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-7-9	「黄色チューリップ」／雑誌『月刊カドカワ』角川書店、1985年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-7-10	ラフ『がたん ごとん がたん ごとん』1987年頃、紙・インク・色鉛筆・他	1
2-7-11	『がたん ごとん がたん ごとん』福音館書店、1987年、紙・カラーフィルム・他	1
2-8	村上春樹との共作	
2-8-1	挿画『象工場のハッピーエンド』村上春樹・安西水丸、CBS・ソニー出版、1983年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-8-2	挿画「J.PRESS短編集」村上春樹／雑誌『POPEYE』マガジンハウス、1985年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	10
2-8-3	挿画「水丸4コマ堂」／雑誌『イラストレーションNo.188』〈特別付録〉玄光社、2011年、紙・インク・カラーフィルム・他	3
2-8-4	挿画「今月の気分」村上春樹／雑誌『月刊カドカワ』角川書店、1997-98年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-8-5	挿画「UFOについての省察2」『ラングルハンス島の午後』村上春樹・安西水丸、光文社、1986年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)	1
2-8-6	挿画「猫の謎2」『ラングルハンス島の午後』村上春樹・安西水丸、光文社、1986年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)	1
2-8-7	挿画「LIFE」『象工場のハッピーエンド』村上春樹・安西水丸、CBS・ソニー出版、1983年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)	1
2-8-8	挿画「コカ・コーラ」『象工場のハッピーエンド』村上春樹・安西水丸、CBS・ソニー出版、1983年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)	1
2-8-9	挿画「ポストカードと万年筆」『象工場のハッピーエンド』村上春樹・安西水丸、CBS・ソニー出版、1983年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)	1

出品番号		点数
2-8-10	装画『村上かるた うさぎおいしーフランス人』村上春樹・安西水丸、文藝春秋、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-11	挿画「うさぎおいしーフランス人」『村上かるた うさぎおいしーフランス人』村上春樹・安西水丸、文藝春秋、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-12	挿画「ゾンビは待てない。今すぐ実行」『村上かるた うさぎおいしーフランス人』村上春樹・安西水丸、文藝春秋、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-13	挿画「強い風が吹くとおへそが乾くよ、お嬢さん」『村上かるた うさぎおいしーフランス人』村上春樹・安西水丸、文藝春秋、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-14	挿画「長いお別れ、終わらないあいさつ」『村上かるた うさぎおいしーフランス人』村上春樹・安西水丸、文藝春秋、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-15	挿画「はと麦畑でつかまるのはクワガタくらい」『村上かるた うさぎおいしーフランス人』村上春樹・安西水丸、文藝春秋、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-16	挿画「ホットケーキのおかわりも三度まで」『村上かるた うさぎおいしーフランス人』村上春樹・安西水丸、文藝春秋、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-17	挿画「やんちゃな祖母は、おさげにしている」『村上かるた うさぎおいしーフランス人』村上春樹・安西水丸、文藝春秋、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-18	挿画「ローリング・ストーンズに、大事なことはみんな教わった」『村上かるた うさぎおいしーフランス人』村上春樹・安西水丸、文藝春秋、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-19	挿画「トランプ」『夜のくもざる 村上朝日堂超短編小説』村上春樹・安西水丸、平凡社、1995年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-20	挿画「夜のくもざる」『夜のくもざる 村上朝日堂超短編小説』村上春樹・安西水丸、平凡社、1995年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-21	挿画「馬が切符を売っている世界」『夜のくもざる 村上朝日堂超短編小説』村上春樹・安西水丸、平凡社、1995年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-8-22	挿画「バンコック・サプライズ」『夜のくもざる 村上朝日堂超短編小説』村上春樹・安西水丸、平凡社、1995年、紙・インク・カラーフィルム・他、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）	1
2-9	安西水丸の依頼者たち	
2-9-1	装画・挿画「恋横丁恋暦」嵐山光三郎／雑誌『問題小説』徳間書店、1985-86年、紙・墨・インク・カラーフィルム・他	5
2-9-2	挿画「郷ひろみの紐育日記」郷ひろみ／雑誌『週刊朝日』朝日新聞社、1988年、紙・インク・他	2
2-9-3	挿画『東京こちょこちょ物語』松木直也・安西水丸、若林出版企画、1985年、紙・インク・他	2
2-9-4	挿画「浅草案内」半村良／雑誌『小説新潮』新潮社、1987年、紙・インク	2
2-9-5	挿画「ウリナラ日記」鷲沢萌／雑誌『小説新潮』新潮社、1993年、紙・鉛筆	2
2-9-6	挿画「露子さん」『すいかの匂い』江國香織、新潮社、1998年、紙・インク・他	1
2-9-7	挿画「あかりや修業」佐々木譲／雑誌『小説新潮』新潮社、制作年不詳、紙・インク・墨・他	2
2-9-8	挿画「水玉歳時記」安西水丸・小玉節郎／雑誌『宝島』JICC出版局、1979-84年、紙・インク・カラーフィルム・他	5
2-9-9	挿画「Dear Owners」常盤新平／雑誌『SUCCESS』ライベックス、1989年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-10	挿画「夢は夜ひらく」林真理子／雑誌『野生時代』角川書店、1983年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	6
2-9-11	挿画「ユーミンの永遠を探せ!」松任谷由美／雑誌『an an』マガジンハウス、1990-91年、紙・インク・カラーフィルム・他	9
2-9-12	挿画「物は物にして物にあらず物語」干刈あがた／雑誌『オレンジページ』オレンジページ、1985-89年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-9-13	装画『十一歳の自転車』干刈あがた、集英社、1988年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-14	装画『陽采』阿久悠、文藝春秋、1988年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-15	装画『恋紅』皆川博子、新潮社、1986年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-16	装画『30代 女たちの日記』泉麻人、中央公論社、1996年、紙・色鉛筆・他	1
2-9-17	装画『素人包丁記』嵐山光三郎、講談社、1987年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-18	装画『素人包丁記』文庫版、嵐山光三郎、講談社、1990年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-19	装画『素人庖丁記 カツ丼の道篇』嵐山光三郎、講談社、1992年、紙・インク・カラーフィルム	1
2-9-20	装画『素人包丁記／ごはんの力』嵐山光三郎、講談社、1994年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-21	装画『素人庖丁記・海賊の宴会』文庫版、嵐山光三郎、講談社、1996年、紙・インク・カラーフィルム	1
2-9-22	装画『チューサン階級の冒険』嵐山光三郎、白川書院、1977年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-23	装画『サイゴン・ティをもう一杯』村松友視、講談社、1985年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-24	装画『南洋の喫茶店』高橋康政、筑摩書房、1986年、紙・カラーフィルム・他	1
2-9-25	ラフ『南洋の喫茶店』高橋康政、1986年頃、紙・カラーフィルム・他	1
2-9-26	装画『すいかの匂い』江國香織、新潮社、1998年、紙・色鉛筆・他	1
2-9-27	装画『ゴルフ場殺人事件』アガサ・クリスティ、早川書房、2011年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-28	装画『鋏と糊』三國一朗、早川書房、1987年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-29	装画『惑いの季節』諸井薫、角川書店、1988年、紙・インク・カラーフィルム・他	1

出品番号		点数
2-9-30	装画『侠気について』諸井薫、角川書店、1990年、紙・カラーフィルム・他	1
2-9-31	装画『時の過ぎゆくままに』(文庫)小泉喜美子、講談社、1990年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-32	装画『ラブ・ソングが聴こえる部屋』文庫版、川西蘭、集英社、1990年、紙・カラーフィルム・他	1
2-9-33	装画『二十四の瞳』壺井栄、角川書店、1995年、紙・色鉛筆・他	1
2-9-34	装画『三文役者の待ち時間』殿山康司、筑摩書房、2003年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-35	装画『山椒魚』文庫版、井伏鱒二、新潮社、2011年、紙・カラーフィルム・他	1
2-9-36	装画『平日』文庫版、石田千、文藝春秋、2012年、紙・カラーフィルム・他	1
2-9-37	装画『ぼくのいい本こういう本』松浦弥太郎、朝日新聞出版、2014年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-38	装画『ロング・バケーション』北川悦吏子、角川書店、1996年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-9-39	[詳細不詳] 紙・水彩絵具	2
2-10	映画マニアとして	
2-10-1	挿画『マルチミュージック』[大阪有線放送社]、1990年、紙・インク・色鉛筆・カラーフィルム・他	12
2-10-2	挿画「シネマ・ストリート」/雑誌『キネマ旬報』キネマ旬報社、1986-93年、紙・インク・他	13
2-10-3	「キネマ"MIZUMARU"」第3回神戸ファッションフェスティバル、1991年、紙・インク	6
2-11	『小説現代』の目次絵	
2-11-1	挿画『小説現代』講談社、1982-94年、紙・インク・カラーフィルム・他	228
2-12	全集『日本の文学』の装画	
2-12-1	装画『日本の文学 近代編』ほるぷ出版、1984-85年、紙・カラーフィルム・他	87

1990年代：肩書きを越えて——イラストレーション、小説、エッセイ……

2-13	小説を通して語られる青年期までの体験	
2-13-1	装画『70パーセントの青空』角川書店、1989年、紙・インク・色鉛筆・他	1
2-13-2	装画『アマリリス』新潮社、1989年、紙・水彩絵具・他	1
2-13-3	装画『手のひらのトークン』新潮文庫、1990年、紙・水彩絵具・他	1
2-13-4	装画『十五歳のボート』平凡社、1992年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2-13-5	装画『冬の電車』徳間書店、1990年、紙・水彩絵具・他	1
2-13-6	装画『青山の青空』新潮社、1989年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-7	装画『丘の上』文藝春秋、1995年、紙・インク・他	1
2-13-8	装画『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-9	挿画「ゲイのクッキーボックス」『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-10	挿画「ナイフ」『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-11	挿画「ドラキュラ伯の孤独」『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-12	挿画「ライト」『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-13	挿画「アメリカの独楽」『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-14	挿画「消えた月」『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-15	挿画「ケーナを吹く」『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-16	挿画「ぼくの骨」『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-13-17	挿画『バードの妹』平凡社、1998年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-14	さまざまなクライアントワーク	
2-14-1	装画『キリンパートナー』キリン、1990-93年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-14-2	装画『フレッシュファミリー』ベネッセコーポレーション、1990-93年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-14-3	装画『ゆうゆうくらぶ』地域振興整備公団、1991-95年、紙・インク・カラーフィルム・他	5
2-14-4	装画『私大蛍雪』旺文社、1991-92年、紙・インク・カラーフィルム・色鉛筆・他	6
2-14-5	装画『学校放送』NHK出版、1992-97年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-14-6	装画『毎日生活らいぶらりい』毎日新聞社、1995年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-14-7	装画『放送文化』NHK出版、1994年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-14-8	装画『たいせい』大成建設、1996-98年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-14-9	装画『輸送リーダー』いすゞ自動車、1998-2000年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2-14-10	装画『レガート』ヤマハ、1994-96年、紙・色鉛筆・他	8
2-15	連載のための挿画——安西水丸の線とスピード	
2-15-1	挿画「走って、ころんで、さあ大変」阿川佐和子/雑誌『週刊文春』文藝春秋、1989-92年、紙・インク・カラーフィルム・他	18

出品番号		点数
2-15-2	挿画「文珍でえっせー」桂文珍／雑誌『潮』潮出版社、1996-2000年、紙・インク・カラーフィルム・他	8
2-15-3	挿画「百瀬博教交友録」百瀬博教／雑誌『週刊宝石』光文社、1998-2000年、紙・インク・カラーフィルム・他	10
2-15-4	挿画「よろしく」嵐山光三郎／『静岡新聞』、静岡新聞、2004-05年、紙・インク・他	23
2-15-5	ラフ「椿山課長の七日間」浅田次郎、制作年不詳、紙・インク	7
2-15-6	挿画「椿山課長の七日間」浅田次郎／『朝日新聞』朝日新聞出版、2001-02年、紙・インク・他	15
2-15-7	挿画「この味」平松洋子／雑誌『週刊文春』文藝春秋、2011-13年、紙・インク・カラーフィルム・他	14
2-16	エッセイ――日々の暮らしから旅先まで	
2-16-1	挿画「旅の絵日記 風のように」／雑誌『WINDS』日本航空、1992年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2-16-2	挿画／雑誌『翼の王国』全日空、2004年、紙・水彩絵具・インク・カラーフィルム・他	2
2-16-3	装画・挿画『エンピツ画の風景』日本文芸社、1993年、紙・色鉛筆・他	5
2-16-4	装画・挿画『アトランタの案山子、アラバマのワニ』安西水丸・小平尚典、小学館、1996年、紙・インク・色鉛筆・他	3
2-16-5	挿画「スケッチブックの一人旅」／雑誌『旅』全日空、1994-97年、紙・インク・色鉛筆・他	5
2-16-6	挿画「ニッポンの旅」／雑誌『家の光』家の光協会、1998年、紙・インク・色鉛筆・他	2
2-16-7	挿画「ニッポン水紀行」／雑誌『AL SUR』2001年、紙・インク・色鉛筆・他	2
2-16-8	挿画「水紀行フォーク・アートの旅」／雑誌『AL SUR』2002年、紙・インク・色鉛筆・他	2
2-16-9	挿画「小さな城下町」／雑誌『オール讀物』文藝春秋、2010-14年、紙・インク・他	7
2-16-10	挿画「地球の細道」／雑誌『GA JAPAN』A.D.A.EDITA Tokyo、1999-2014年、紙・インク・色鉛筆・他	4
2-16-11	挿画「大衆食堂へ行こう」／雑誌『一個人』一個人出版、2000-05年、紙・インク・カラーフィルム・色鉛筆・他	6
2-16-12	挿画「日本の駅弁」／ウェブマガジン『Manyo（万葉）』SBMM、アクセス・パブリッシング、2005年、紙・インク・カラーフィルム・色鉛筆・他	4
2-16-13	挿画『古典酒場』三栄書房、2007-13年、紙・インク・他	2
2-16-14	［詳細不詳］紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-16-15	挿画「日本酒ファンによる日本酒ラベル考」『日本の名酒事典：清酒 全国一四八七蔵元の徹底ガイド』講談社、1995年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-16-16	挿画［旅のグッズいろいろ］詳細不詳、紙・インク・色鉛筆・他	1
2-16-17	《無題》制作年不詳、紙・インク	1
2-16-18	《築地の路地》制作年不詳、紙・インク・色鉛筆	1
2-17	表紙絵で展開するストーリー：『プラス』	
2-17-1	装画『プラス』石井食品、1991-99年、紙・インク・色鉛筆・他	35
2-18	人たらしの観察者：『ぼくのいつか見た部屋』	
2-18-1	挿画「ぼくのいつか見た部屋」／雑誌『週刊マイルームガイド』アットホーム、1996-97年、紙・インク・色鉛筆・他	20
2-19	我が庭の青山	
2-19-1	挿画「青山へかえる夜」／雑誌『CLiQUE』マガジンハウス、1994-96年、紙・インク・カラーフィルム・他	9
2-19-2	［青山雪舟の青空日記］制作年不詳、紙・インク・他	1
2-20	東京イラストレーターズ・ソサエティ	
2-20-1	［詳細不詳］紙・インク・カラーフィルム・他	8
2-21	師としての一面	
2-21-1	挿画「青山へかえる夜」／雑誌『CLiQUE』マガジンハウス、1994-96年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2-21-m1	資料「パレットくらぶ展」案内状、1986年、安西水丸事務所	1
2-21-m2	資料「京都インターナショナル・アカデミー '94 総合講座ご案内」1994年、安西水丸事務所	1

2000年代：絵を始点に暮らす――地続きの趣味と仕事

2-22	イラストレーションのプロフェッショナルとして	
2-22-1	装画『朝昼晩：歯と歯磨きを科学するデンタルマガジン』日本歯科医師会、1998年-2010年、紙・インク・色鉛筆・他	8
2-22-2	装画『美味しいか恋しいか』光文社、1999-2002年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-22-3	挿画「美味しいか恋しいか」／雑誌『BRIO』光文社、1999-2002年、紙・インク・カラーフィルム・他	7
2-22-4	挿画「F and E Ism…」／雑誌『Free & Easy』イースト・コミュニケーションズ、2000年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	12
2-22-5	装画『マザーズブック あ・そ・ほ』フレーベル館、2002-04年頃、紙・インク・カラーフィルム・他	6
2-22-6	挿画「星のオラクル」／雑誌『STORY』光文社、2008-10年、紙・インク・カラーフィルム・他	6
2-22-7	挿画『ものがたりのお菓子箱』谷崎潤一郎、有島武郎 ほか、飛鳥新社、2008年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2-22-8	装画『宝島』宝島社、2009-12年、紙・インク・カラーフィルム・他	3
2-22-9	装画『毎日が発見』KADOKAWA、2012-13年、紙・インク・カラーフィルム・他	4

出品番号		点数
2-22-10	装画『イラストレーションNo.188』玄光社、2011年、紙・インク・カラーフィルム・他	1
2-23	プライベートワークと展示活動	
2-23-1	《INTERIOR》「1993 イラストレーション4――安西水丸・河村要助・矢吹申彦・湯村輝彦――」出品作品、1993年、紙・インク・カラーフィルム・他	6
2-23-2	「LOVE STORY」出品作品、1993年、紙・色鉛筆・他	4
2-23-3	「絵とコトバ 三人展 安西水丸 佐藤晃一 若尾真一郎」出品作品、2008年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
2-23-4	「POST CARD」出品作品、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-24	和田誠との共作、あるいは交換日記	
2-24-1	和田誠・安西水丸《樹が木じゃない》2010年、紙・インク・カラーフィルム・他、青山 山陽堂書店	1
2-24-2	和田誠・安西水丸《一服》2011年、紙・インク・カラーフィルム・他、青山 山陽堂書店	1
2-24-3	和田誠・安西水丸《干支》2011年、紙・インク・カラーフィルム・他、青山 山陽堂書店	1
2-24-4	和田誠・安西水丸《ヨーイ、はい》2011年、紙・インク・カラーフィルム・他、青山 山陽堂書店	1
2-24-5	和田誠・安西水丸《はい、チーズ》2013年、紙・インク・カラーフィルム・他、青山 山陽堂書店	1
2-24-6	和田誠・安西水丸《絵馬》2013年、紙・インク・カラーフィルム・他、青山 山陽堂書店	1
2-25	言葉を介さず――絵本のためのイラストレーション	
2-25-1	『クッキーのおべんとうやさん』ポプラ社、2005年、紙・インク・カラーフィルム・他	4
2-25-2	『おばけのアイスクリームやさん』教育画劇、2006年、紙・インク・カラーフィルム・他	3
2-25-3	『おさるのケーキやさん』教育画劇、2007年、紙・インク・カラーフィルム・他	3
2-25-4	『はるのどきどきマジック! きむらゆういちのしかけクイズえほん』きむらゆういち・安西水丸、教育画劇、2007年、紙・インク・他	3
2-25-5	『りんご りんご りんご りんご りんご』主婦の友社、2005年、紙・カラーフィルム・他	8
2-25-6	ラフ『がたんごとん がたんごとん ざぶんざぶん』2010年頃、紙・インク・他	2
2-25-7	『がたんごとん がたんごとん ざぶんざぶん』福音館書店、2010年、紙・カラーフィルム・他	6
2-26	最後に、嵐山光三郎と	
2-26-1	ラフ『ピッキーとポッキーのかいすいよく』嵐山光三郎・安西水丸、1980年頃、紙・インク・他	1
2-26-2	『ピッキーとポッキーのかいすいよく』嵐山光三郎・安西水丸、福音館書店、1980年、紙・インク・他	2
2-26-3	『ピッキーとポッキーのはいくえほん おしょうがつのまき』嵐山光三郎・安西水丸、福音館書店、2013年、紙・インク・他	9

第3章 造形の原風景

3-1	安西水丸のデザインの原点	
3-1-1	挿画「デザインの細道」／雑誌『ボートフォリオ』誠文堂新光社、1991-93年、紙・インク・カラーフィルム・色鉛筆・他	31
3-1-2	装画『ガラスのプロペラ デザインの細道』誠文堂新光社、1994年、紙・色鉛筆・他	1
3-1-3	挿画「ジャズのレコード・ジャケットにはさまざまな思い出がある」／雑誌『AL SUR』制作年不詳、紙・色鉛筆・他	1
3-1-4	装画『かしこ』産経新聞出版、2011年、紙・インク・カラーフィルム・他	2
3-1-5	[詳細不詳] 紙・インク・カラーフィルム・他	1
3-1-m1	[作業机・椅子・他] 安西水丸事務所	1
3-1-m2	[画材・他] 安西水丸事務所	16
3-1-m3	[モチーフ・他] 安西水丸事務所	37
3-1-m4	ケニー・バレル『ブルー・ライツ Vol. 2』(LPレコード) ブルーノート・レコード、1958年、安西水丸事務所	1
3-2	趣味の人	
3-2-1	挿画「魚心なくとも水心」／雑誌『おとなびあ』びあ、2000-02年、紙・インク・色鉛筆・他	17
3-2-2	挿画「僕のファッション考」／雑誌『AL SUR』1999年、紙・インク・色鉛筆・他	4
3-2-3	[詳細不詳] 紙・インク・カラーフィルム・色鉛筆・他	26
3-2-4	[詳細不詳] 色紙・インク・カラーフィルム・墨・他	4

第4章 印刷文化の活況とイラストレーションの黄金期

4-1	秋山育(i)、田中一光(ad)、広村正彰(d)、岩崎俊一(cw)《ciao ITALIA》西武百貨店、1986年、オフセット	1
4-2	秋山育(i)《タテ組ヨコ組10周年》モリサワ、1993年、オフセット	1
4-3	安西水丸(i)《串田和美・第1回監督作品『映画 上海バンスキング』》自由劇場、1988年、オフセット	1
4-4	安西水丸(i)・河村要助(i)・矢吹申彦(i)・湯村輝彦(i)《1993 Illustration4 安西水丸・河村要助・矢吹申彦・湯村輝彦》ギンザ・グラフィック・ギャラリー、1993年、オフセット	1
4-5	大橋歩(i)《「2杯めのトマトジュース」大橋歩さし絵展》ザ・ギンザ、1981年、オフセット	1

出品番号		点数
4–6	河村要助(i)《Amnesty》アムネスティ・インターナショナル日本、1980年、オフセット	1
4–7	河村要助(i)、杉山明人(cw)《唐獅子株式会社》東映、1983年、オフセット	1
4–8	黒田征太郎(i)、長友啓典(d)《長唄 三味線》University of California at Los Angeles、1981年、オフセット	1
4–9	黒田征太郎(i)、長友啓典(cd)、望月秀峻(ad)、平塚重雄(d)、日暮真三(cw)《見るだけで、しあわせになれるよ。》西友、1983年、オフセット	1
4–10	黒田征太郎(i)、長友啓典(ad)、加藤茂樹(d)《南風荘の人々》椿組、星屑の会、1997年、オフセット	1
4–11	黒田征太郎(i)、長友啓典(ad)、前橋隆道(d)《犬走る DOG RACE》東映ビデオ、1998年、オフセット	1
4–12	合田佐和子(i)《Amnesty International》アムネスティ・インターナショナル日本、1980年、オフセット	1
4–13	合田佐和子(i)《夜壷》劇団唐組、2000年、オフセット	1
4–14	佐藤晃一(d)《THE MODERN POSTER》ニューヨーク近代美術館、1988年、オフセット	1
4–15	佐藤晃一(d)《シャボン玉とんだ。宇宙まで飛んだ。》ヒューマンデザイン、下北沢・本多劇場、1989年、オフセット	1
4–16	佐藤晃一(ad)、田中一光(cd)、永田陽(p)《然》茶美会文化研究所、1993年、オフセット	1
4–17	佐藤晃一(d)《利休》勅使河原プロダクション、1988年、オフセット	1
4–18	鈴木英人《Top boy――ミントの風、Shampoo&Spray rinse――》ライオン、1984年、オフセット	1
4–19	滝野晴夫(i)、石岡瑛子(ad)、乾京子(d)《地獄の黙示録》日本ヘラルド映画、1979年、オフセット	1
4–20	長新太(i)《東京イラストレーターズクラブ 第一回展》東京イラストレーターズ・クラブ、1964年、シルクスクリーン	1
4–21	永井博(i)《デルモンテ野菜ジュース》KIKKOMAN、1977年、オフセット	1
4–22	長友啓典(d)、加納典明(p)《Jantzen》小杉産業、1965年、シルクスクリーン	1
4–23	長友啓典(d)、加納典明(p)《日宣美展作品公募》日本宣伝美術会、1968年、シルクスクリーン	1
4–24	日比野克彦(a)、馬場俊哉(ad)、関根慎一(d)、吉田早苗(cw)《会いたい人に、つくって、贈る。オレンジカード》JR東日本、制作年不詳、オフセット	1
4–25	ベーター佐藤(i)、オノタキ(ad)、廣田武志(d)、竹花いち子(cw)《PARCO 男は背中で記録する。》パルコ、1980年代、オフセット	1
4–26	ベーター佐藤(i)、廣田武志(d)、竹花いち子(cw)《PARCO はっきり言ったらどうだ。》パルコ、1980年代、オフセット	1
4–27	ベーター佐藤(i)、オノタキ(ad)、廣田武志(d)、竹花いち子(cw)《PARCO パフォパフォと夏を呼んでるクラクション。》パルコ、1986年、オフセット	1
4–28	矢吹申彦(i)、浅川演彦(d)《青春は、絵の具の匂い。》阿佐ケ谷美術学園、1976年、オフセット	1
4–29	山口はるみ(i)、力石行男(cd)、鈴木清二(ad)、馬場信久(d)、瀬間信子(cw)《PARCO グランバザール あなた寝てる場合じゃないでしょ。》パルコ、1977年、オフセット	1
4–30	山口はるみ(i)、戸田正寿(ad)、鈴木守(d)、吉村則人(p)、相川喜伸(p)、沢口敏夫(cw)《PARCO 女の肌は夢を吸う。》パルコ、1982年、オフセット	1
4–31	山口はるみ(i)《HAVE YOU HIT HIM?》マンズワイン、1975年、オフセット	1
4–32	湯村輝彦(i)、小野田隆雄(ad)、安原和夫(d)《KENZO メロウな世界・メロウな色》資生堂、1977年、オフセット	1
4–33	湯村輝彦(i)《ハートを歌う、明るい音像を歌う。トリオ・オリジナルトーン。》TRIO、制作年不詳、オフセット	1
4–34	湯村輝彦(i)、田中一光(d)《おれたちは天使じゃない》西武劇場、1974年、オフセット	1
4–35	間嶋龍臣(d)、湯村輝彦(i)、竹内基臣(cw)《Asunaro》アスナロ、1982年、オフセット	1
4–36	湯村輝彦(i)、舟橋全二(d)《東京イラストレーターズクラブ展》東京イラストレーターズ・クラブ、1970年、オフセット	1
4–37	吉田カツ(i)、石岡瑛子(ad)、成瀬始子(d)、眞木準(cw)《PARCO ハイヒール・エキスプレスにレールはない》パルコ、1977年、オフセット	1
4–38	若尾真一郎(i)、牧野仁輝(ad)、山田隆志(d)《Wakao》西武百貨店、1986年、オフセット	1
4–39	若尾真一郎(i)、牧野仁輝(ad)、山田隆志(d)《若尾真一郎展》ギンザ・グラフィック・ギャラリー、1989年、オフセット	1
4–40	若尾真一郎(i)、大迫修三(d)《CALENDAR '97》東京イラストレーターズ・ソサエティ、1997年、オフセット	1
4–41	若尾真一郎(i)《UNFCCC-COP3-kyoto》地球温暖化防止京都会議支援実行委員会、1997年、オフセット	1
4–42	和田誠(i)《佐山雅弘 plays Portrait in Jazz ～和田誠・村上春樹「Portrait in Jazz」の世界～》大館市民文化会館、2016年、オフセット	1
4–m1	原田治(i)、雑誌『ビックリハウス 通巻12号』パルコ出版、1976年1月、個人蔵	1
4–m2	原田治(i)、雑誌『ビックリハウス 通巻14号』パルコ出版、1976年3月、個人蔵	1
4–m3	原田治(i)、雑誌『ビックリハウス 通巻16号』パルコ出版、1976年5月、個人蔵	1
4–m4	原田治(i)、雑誌『ビックリハウス 通巻18号』パルコ出版、1976年7月、個人蔵	1
4–m5	原田治(i)、雑誌『ビックリハウス 通巻20号』パルコ出版、1976年9月、個人蔵	1
4–m6	原田治(i)、雑誌『ビックリハウス 通巻22号』パルコ出版、1976年11月、個人蔵	1
4–m7	榎本了壱「グラフィック・デザインを中心とした東京派の私案略図」『たて組ヨコ組 通巻20号』モリサワ、1988年	1
4–m8	安西水丸(i)、雑誌『POPEYE 通巻145号』平凡出版、1988年	1
4–m9	原田治(i)、雑誌『POPEYE 通巻83号』平凡出版、1980年	1

安西水丸とイラストレーション――絵があって、ぼくがいた。

会期
2026年9月14日－10月25日

会場
武蔵野美術大学美術館 展示室 3・4・5

主催
武蔵野美術大学 美術館・図書館

特別協力
安西水丸事務所

協力
青山 山陽堂書店
早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）
PLAY! MUSEUM

企画監修
白井敬尚（武蔵野美術大学造形学部
視覚伝達デザイン学科教授）
いとう瞳（同 油絵学科グラフィックアーツ専攻教授）

会場構成
平川凌成建築設計事務所

会場グラフィック・デザイン
杉下城司

会場施工
成田輝（square4）、寺田篤実